

AMED社会共創EXPO

～社会と共に創る明日の医療～

2023年2月18日(土) 10:30～16:30

医療分野の研究開発を社会と共に創るにはどうしたらいいか——実行会議における議論に基づき、AMED社会共創EXPOを開催します。

「社会と共に創る明日の医療」をテーマとして3つの企画を実施します。

現代におけるさまざまなリスクコミュニケーションや、医療の未来における“ものづくり”をどう発想するか、コロナ禍で気づいた小さなアイデア等、登壇者や参加者と対話を展開し、“社会と共に創る”と“社会を共に創る”につなげます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



会場

日本科学未来館7階 イノベーションホール

会場所在地

東京都江東区青海2-3-6

開催方法

会場とオンラインのハイブリット式(会場120名程度)

参加費

無料 ※日本科学未来館の常設展、特別展、ドームシアターの観覧には入館料が必要となります。

参加ご希望の方は、以下のリンクよりお申し込みください。

お申し込みフォーム <https://krs.bz/his/m/pxtoclcsdm5349>



主催



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

協力



国立研究開発法人
科学技術振興機構

問い合わせ先

AMED社会共創EXPO運営事務局

株式会社エイチ・アイ・エス E-mail: amed-unei@his-world.com TEL: 050-1748-7112

AMED 社会共創 EXPO

～社会と共に創る明日の医療～

プログラム

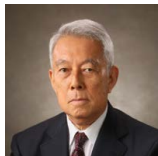
10時30分 開催の挨拶

10時35分 オープンダイアログ1

不確実な未来と向き合うためのリスクコミュニケーション ～多様な個をつなぎ、自分ごととして伝わる社会を創る～

例えば、今日あなたが外出するときにマスクをつけるかどうか、何をよりどころにして決めるでしょうか。それはどこから得た情報でしょうか。そしてその選択は誰とどのようなコミュニケーションによってなされた結果でしょうか。みなさんは、不確実な状況の中で様々な立場から発信されるたくさんの情報を、どのように分析・確認して、正しい情報、的確な知見を得ているのでしょうか。このセッションではリスク事象が発生する前の段階で行われる「社会活動としてのリスクコミュニケーションの実践」について、医療、倫理、心理学の専門家を含む多様なパネリストを迎え、参加者のみなさんと双方向の対話を行い、学びを深めていきたいと思えます。

パネリスト



岩崎 甫

山梨大学 副学長/AMED医薬品プロジェクト・プログラムディレクター/一般社団法人PPIジャパン 代表理事



平井 啓

大阪大学大学院人間科学研究科 准教授



谷島 雄一郎

ダカラコンクリエイト発起人・世話人、カラクリLab.代表/大阪ガスネットワーク株式会社



武藤 香織

東京大学医学研究所 教授



小村 悠

国立がん研究センター東病院臨床研究支援部門/医薬品開発推進部門 スタディーマネージャー

ファシリテーター

12時10分 休憩

13時00分 オープンダイアログ2

Well-being; 幸せに生きるためのデザインとテクノロジー ～医療と社会のCo-Creation!!～

病気になっても、障害を持っていても、生きることを楽しんで、コミュニケーションを喜びながら、社会とつながることでワクワクしたい。社会とともにある医療分野のものづくりをいかに発想するか、いかに実現するかをみんなで考えてみませんか。

※Well-being: 個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念(厚生労働省)

パネリスト



本多 達也

富士通株式会社 未来社会&テクノロジー本部 Ontennaプロジェクトリーダー/サイエンスアゴラ 2022推進委員



株式会社 明和電機



三島 良直

日本医療研究開発機構 (AMED) 理事長



桜井 なおみ

がん・ソリューションズ株式会社 代表取締役社長/一般社団法人CSRプロジェクト 代表理事

ファシリテーター

14時30分 休憩

14時45分 AMED meets Street Medical School

～「小さなやさしいアイデア」で医療・医学と社会の共創を駆動する～

医療関係者を含む多様な背景をもつメンバーが集まり、徹底した利用者目線で医療・ヘルスケアの未踏課題の解決アイデアを考案するStreet Medical School。そこから生まれたアイデア10点を紹介します。

レクチャー「Street Medicalとは」

ポスター発表



西井 正造

横浜市立大学 先端医学研究センターコミュニケーション・デザイン・センター 助教

16時00分 クロージングセッション

今野 浩一 PMラボ ポジティブ・インテンション 代表

16時25分 閉会の挨拶

同時開催
バーチャル
イベント

参加型デジタルアート「しあわせクラウド ～Well-beingを可視化する～」

世界の研究や技術開発の目的の軸足が「一人ひとりが多様な幸せ(Well-being*)を実現できる社会」に移りつつあります。流行りの言葉ではあるけれど、捉えることが難しい、まるで雲(クラウド)のような「Well-being」。それぞれの「しあわせ」を集めて、デジタルアートによる感覚的な表現を試みます。



谷島 雄一郎